

## 平成 24 年度 下 半期 指定管理者管理運営状況シート

### ●施設の概要

施設名	岐阜市日光コミュニティセンター		所管課	市民協働推進課
所在地	岐阜市日光町九丁目1番地3			
指定管理者名	岐阜市日光コミュニティセンター運営委員会			
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日			
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募		<input checked="" type="checkbox"/> 非公募	
料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 使用料		<input type="checkbox"/> 利用料金	<input type="checkbox"/> 料金徴収なし
指定管理委託料 (年額)	17, 394, 000円(平成24年度)			
施設の設置目的	地域住民の連帯意識を高め、快適で住みよい地域社会の形成に寄与すること			
施設概要	敷地面積 3, 798m <sup>2</sup> 鉄筋コンクリート造2階建て 延床面積 2, 016. 64m <sup>2</sup> 多目的室、教養娯楽室、集会室、会議室、サークル室、大集会室、駐車場 岐阜市日光事務所(併設施設)、岐阜市日光ふれあい保健センター(併設施設)、岐阜市日光児童センター(併設施設)			

### ●利用状況

		H24 下半期	H24 上半期	H23 下半期	H23 上半期	H22 下半期
利用者数(単位:人)		31,041	32,444	29,960	33,081	28,966
各室稼働状況 (%)	多目的室	50.1	45.4	49.3	50.3	44.4
	教養娯楽室	29.8	25.5	27.2	28.9	33.8
	集会室	54.8	53.1	54.4	54.4	51.7
	会議室	36.0	35.2	34.4	37.4	40.6
	サークル室	74.0	73.7	70.0	67.1	73.7
	大集会室	70.4	67.1	71.3	69.9	64.7

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①供用日・供用時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応	①適切な運用が行われている。 ②適切な運用が行われている。 ③サークル発表会等のチラシを作成し、構成区域の地域住民に周知している。 ④アンケートを実施するとともに、窓口等で利用者の意見を聞いて、可能な限り迅速に対応している。
自主事業・提案事業	下記自主事業の実施 ①4地区高齢者グランドゴルフ大会(5月) ②サークル発表会(6月) ③コミセン講座(3回程度)(7~12月) ④防災訓練(4月、10月) ⑤コミセンたより発行(12月) ⑥サークル代表者会議(3月)	①上半期に実施。 ②上半期に実施。 ③9/21、9/26、10/2に「つるし雛かざり講座」実施。30名参加。 11/7、11/14、11/21、11/28に「木目込干支人形講習会」実施。35名参加。 ④上半期に実施。 ⑤1,500部発行。構成地域の自治会各班にて回覧。 ⑥3/1に実施。38名参加。
施設管理	日常点検 ①消防設備点検(自主点検) ②不審者、危険物(自主点検) 法定点検 ①昇降機保守点検(年1回) 定期点検 ①昇降機保守点検(年12回)	日常点検 ①特記事項なし ②特記事項なし 法定点検 ① 3/19に実施 定期点検 ①10/30,11/20,12/27,1/21,2/13,3/19に実施。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ・迅速な修繕の実施	日常点検の中で施設及び備品の状況を適切に把握し、不具合個所が発見された場合は迅速に対応している。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①岐阜市コミュニティセンター条例第7条の規定に基づき実施されている。 ②マニュアルを整備するとともに、年2回避難訓練を実施している。 ③関係法令を遵守し、運営されている。

## ●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	平成25年2月1日～2月28日に実施
利用者アンケートの実施結果	<p>設問① 利用した部屋は 多目的室 21.4%、教養娯楽室 0%、集会室 14.3%、会議室 17.9%、サークル室 25.0%、大集会室 21.4%</p> <p>設問② 利用頻度は 以前に利用 7.1%、定期的に利用 92.9%、初めて利用 0%</p> <p>設問③ 施設の雰囲気について 大変満足 28.6%、ほぼ満足 71.4%、やや不満 0%、大変不満 0%、わからない 0%</p> <p>設問④ 設備・備品について 大変満足 17.8%、ほぼ満足 67.9%、やや不満 14.3%、大変不満 0%、わからない 0%</p> <p>設問⑤ 職員の対応について 大変満足 32.1%、ほぼ満足 67.9%、やや不満 0%、大変不満 0%、わからない 0%</p> <p>設問⑦ 性別 男性 7.1%、女性 92.9%</p> <p>設問⑧ 年代 20歳未満 0%、20代 0%、30代 0%、40代 7.1%、50代 14.3%、60代 42.9%、70歳以上 35.7%</p>
利用者からの要望・苦情と対処・改善	<p>各部屋で冷暖房の調節ができるないか。 →各部屋で調節はできるが、取扱いについては事務局にて行う旨、周知させてもらう。</p>

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	岐阜市日光コミュニティセンターの運営上の基本方針	・利用要領に従い、平等な施設利用の承認を行っているか	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・市の情報公開制度に基づき公開されているか。 ・指定管理者の発行する広報誌やチラシで広報されているか	A	A	A
			区分評価			A
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	地域の生涯学習及びコミュニティ活動の推進を行っていく上で方針と主な事業計画	・岐阜市の施策に沿って、地域の生涯学習、コミュニティ活動の推進に資する業務を行っているか	A	A	A
		貸館業務を行っている上での方針と主な事業計画	・地域の生涯学習、コミュニティ活動の場として提供されているか	A	A	A
		既存業務の改善、工夫又は新規の魅力的な提案の有無、内容	・運営委員会事業の内容を常に見直しを行っているか	A	A	A
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	・利用者へのアンケート調査を実施しているか ・また、その結果、利用者の要望、クレームに対し適切に対応しているか	A	A	A
		利用者に対するサービス向上の方策(窓口応対、プロモーション、設備等の整備など)	・接遇等の職員研修が実施されているか ・定期的に備品の点検を行い、必要に応じて改善されているか	A	A	A
			区分評価			A
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	指定管理に関する経費の設定額の妥当性と経費縮減の方策	・収支予算と実績とは大きくかい離していないか ・具体的な経費の削減の方策を掲げ、努力しているか	A	A	A
		効率的な運営を図るための組織の構造	・職員の配置を工夫し、開館時は常に業務に支障が出ないようにローテーションが組まれているか	A	A	A
			区分評価			A
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的、人的能力を有していること	必要人材の配置と職能及び人材育成の方策	・業務に必要な研修を実施し資質の向上に努めているか	A	A	A
		リスクへの対応方策(利用者の安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理マニュアル・緊急連絡網等を整備し、緊急事態に対応できる体制ができているか ・また、個人情報保護等法令遵守は適切に行われているか	A	A	A
		施設管理を行っていく上での方針と具体策	・各種機械設備の保守点検等を行うとともに、防犯・防火体制を整え、日常の安全確保に努めているか。	A	A	A
			区分評価			A

貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	地域の生涯学習、コミュニティ活動の推進のため、ニーズを把握し、地域と一体となって事業推進ができる組織	・地域の自治会連合会等の各種団体の代表者で構成する運営組織であり、地域に密着した運営が行われているか	A	S	S
	地元の住民の雇用及び貢献に関すること		・地域に密着した運営ができるよう、地元在住者を職員として採用しているか ・地域の振興、活性化に貢献する活動が行われているか	A	S	S
	区分評価					S

### ●指定管理者の取組みに対する自己評価

今期の取組みに対する評価	・安心安全で利用者に気持ち良く利用してもらうためハード、ソフトに適切な対応をし、環境づくりに努めた。(各種点検施設整備、カーペット清掃、カーテン取り替え等) ・四校区公民館サークル発表会やコミセン便りの発行のほか、つるし雛かざり講習会と木目込み講習会を開催し、地域住民のコミュニティの醸成やPRに努めた。 ・サークル代表者会を開催し、利用者のニーズを聞き又コミセン側の説明など相互理解を高めた。
前回までの意見の取組み状況	・老朽化している施設を小修繕を含めて細心の注意を持って整備するとともに電気や冷暖房の省エネを図り、施設運営の効率化に努めた。 ・苦情や事故等をなくすため館内4施設と密接な連絡を取り根絶に努めた。 ・利用者ニーズを的確につかむため利用者との会話に努めた。
今後の取組み	・地域のコミュニティを高める中核施設になるよう多くの地域住民が気軽に来館できるようホスピタリティの醸成を高めるとともに、自治会連合会や各種団体と連携を取り各種事業で交流を深めコミセン本来の目的を達成していきたい。

### ●所管課の意見

- ・利用状況については、前年同期に比べ、利用回数、利用者ともに増加している。
- ・指定管理者の事業については、センターの機関紙「コミセンだより」を発行し、構成区域の住民を対象にセンターの活動状況などを紹介したほか、つるし雛かざり講習会、木目込干支人形講習会、4校区公民館サークル発表会を実施するなど地域に密着した特色ある事業を実施している。
- ・利用者の声を聞くため、2月の1ヶ月間アンケート調査を実施し、利用者の意見を取り入れ、利用者の目線に立った運営を行っており、評価できる。利用者からの苦情も特になく、要望等についても、可能な限り迅速に対応しており、適正な運営がなされている。
- ・運営組織は、地域の自治会連合会の各種団体の代表者により構成されており、利用者が利用しやすい運営方法の改善や施設の維持管理に努めるなど、適正な施設運営が行われていると評価できる。

### ●指定管理者評価委員会の意見

- ・事故等ではなく、施設の安全な管理がなされていると考えられる。
- ・常連の利用者だけでなく、地域のさまざまな人が活用できる施設の運営を図るため、運営委員会には女性も地域の多様な人材の登用に配慮されたい。
- ・各施設の運営管理者による情報交流の機会を通じて、施設の活用のさらなる活性化に努められたい。